

岩手教区報

第349号
 立教185年1月1日
 天理教岩手教務支庁
 盛岡市馬場町3-40
 TEL 019-622-7962
 FAX 019-623-9597



年の始めにあたり 一関支部長 鈴木裕一

新年あけましておめでとうございます。1月1日、教会では元旦祭をつとめます。過ぎし年の御礼、新たな年の心定め、人々のたすかりと安寧を願ひ、陽気世界が実現できるようおつとめをつとめさせて頂きます。私共の教会では、朝6時から元旦祭をつとめますが、元旦祭とは別に、午前10時より月祈願のおつとめをつとめます。信者さんが初詣に来られるのは、その時間から夕方まで続くといった感じですが、でき得れば、御本部の元旦祭に参拝し、元なるおぼで親神様に御挨拶を致して新たな年の始まりを迎えたくも思いますが、遠方により参拝できかねるので、教会にお鎮まり下さる親神様に年の始めのご挨拶を申し上げます。

さて、一般に初詣は、人々が旧年の感謝を捧げ、迎えた年の無事や平安を、社寺を参拝して祈願する風習であり、江戸時代に始まったと言われます。その由来は平安時代からある「年籠り」という風習からきているとされ、村や家の長が地域の氏神様の祀られている社寺に大晦日の夜から元日の朝まで寝ずに籠って、新年の豊作や安全を願ったことが元となったといわれています。時代が下るにつれ、「除夜詣」「元日詣」に分

かれて簡略化され、今では元日の参拝だけが残り、思いの社寺に参りに行くようになったということになります。ここで、「詣」について、つまり「参拝」について思案するに、逸話篇一〇「えらい遠廻りをして」を開いてみます。榊井キクさんが夫伊三郎さんの身上の平癒を願ひ、多くの詣り所、願ひ所に足を運んだ末に教祖にお目通りして頂いたお言葉「あんた、あつちこつちとえらい遠廻りをしておいでたんやなあ。おかしいなあ。ここへお出でたら皆んなおいでになるのに。」このお言葉を聞いたキクさんは、「ほんに成る程、これこそ本当の親や。」と感激されたお話です。これは、まず一番にどこにいくかということをお話して下さっていると思えます。私たちは道の信仰者であり、何を拠りどころに歩んでいくかは自明の理であります。何を拠り置いて、新年のご挨拶は元の神様、実の神様への参拝から始まります。

さて、本年は「全教一斉ひのきしんデー」提唱90年の節目であります。やがて迎える教祖140年祭へのワンステップの年とも位置づけて、勇んでつとめさせていただきます。



「コロナ禍の共存克服の年に」

令和4年の新春を健やかに迎えられることとお慶び申し上げます。昨年は前年同様、コロナ禍によりお道の諸活動も縮小或いは中止という大節の中にも拘わらず、何とかお連れ通り頂いて参りましたが、本年はこれまでの在り方を振り返り、その反省のもとに一手一つに再出発を心に定めて邁進をさせて頂きたいものがあります。奇しくも今年「とら年」です。動物の「虎」は「千里行つて千里帰る」と言いますが、本教も立教185年の今年、虎が千里行つて千里帰るように、正に185年歩んで185年立教の元に立ち帰り、それぞれの信仰の元一日なり、原点に立脚し、教理の研鑽はもとより、お互いの心を澄み切らせ、加速する社会の変革に相応しい布教力を涵養させて頂きたいものがあります。

又、本年は十干十二支では「壬寅」(みずのえとら)であり、十干の「壬」とは「陰気」が極まって陽気が生じて来る。この陽気によって万物は成熟してくる」とされています。今やコロナ禍などの感染症によって陰気極まった暗い世界が、今年は一転して陽気なエネルギーを得て豊かに刷新されて来るものと思われれます。

更に、干支の「寅」は助ける、協力するなどの意味があるので妨害、公害、今ならコロナ禍を排除するべく人類は助け合いにより進歩できることでもあります。これまでは政治経済、医療も共に豊かさを第一に求めてきましたが、コロナ後は暖かさを取り戻す事であり、かぐらぶとめの方位から悟れば、今年「たいしょく天のみこと」の理を崇める年でしょう。身の内では出産の時親子の胎縁を切り、出直しの時、息を引き取る世話。世界では切る事一切の守護とあります。切るとは断絶を連想し、一見避けたいものに思われます。しかし、切るとつなぐ理は二つ一つ。切つてつなぐのであります。

病の根が切れ、悪いんねんの根も切れ、陽気ぐらしにつながります。この世は生と死、つなぎと切る理との繰り返して永

遠の前進があり、死がなければ誕生もありません。時句の成人には今の自分を切り替える自己決断という思い切りが大切でありましょう。

布教所開設

花豊布教所
 「島ヶ原大・花宮古分・三陸支部」
 右布教所は、10月27日付で開設されました。住所、所長は次の通りです。
 ◇住所 〒028-1302
 下閉伊郡山田町豊間根第2
 地割93番地の1
 ◇所長 滝磯 信子

行事予定 【1月分】

- 13日 婦人会例会(10時30分)
- 15日 青年会オンラインセミナー(18時)
- 16日 学生担当委員会例会 on line(19時)
- 16日 主事会(9時) 役員会議(10時)
- 予算地方委員会(役員会議後)
- ひのきしんフェス会議
- 29日 教職員の集い役員会(10時30分)
- 30日 第48回少年会総会(10時)



「全教一斉ひのきしんデー」

— 提唱90年の節目に —

今年「全教一斉ひのきしんデー」は、提唱90年の節目を迎えます。この機会に、全ようばくに声をかけて、ひのきしんに勇み立つ姿をお見せ頂き、ひいては、来たる教祖140年祭活動への足掛りとなるようつとめていきたいと思います。

- ・岩手教区では、4月29日から5月29日までを「全教一斉ひのきしんデー」の期間とします。
- ・最終日5月29日には、献血ひのきしんを主体とする「ひのきしんフェスティバル」を教務支庁で開催します。
- ・各教会で参加目標を掲げて、例年に増しての動員に取り組みます。
- ・呼びかけチラシは、岩手教区オリジナルを作成します。そのチラシに載せる少年会員のイラストを葉書で募集します。締切は1月20日(消印有効)です。



青年会

「オンラインセミナー」

【1月15日】

岩手教区青年会では、左記の通りオンラインセミナーを開催致します。

講師は、現在ヨーロッパ出張所にて婦人会海外人材派遣生としておつとめの櫃割まさ代さんにお願ひしています。

今年度で任務も終わりとなりますが、現在のコロナ禍での海外の状況や、出張所での生活、また、どんな所でどんな気候なのかなど、お道のことに限らず様々なことを聞いてみたいと思います。海外で活躍するホットな声を、岩手にいながら聞かせていただけると幸いです。挙つてご参加下さい。

記

日時 1月15日(土) 18時

会場 各自都合の良い場所

講師 櫃割まさ代さん(婦人会海外人材派遣生・北三陸分所屬)

配信方法 ZOOM



少年会

「第48回岩手教区団總會」

【1月30日】

岩手教区団總會も数えて第48回を迎えさせていただくことになりました。これもひとえに皆様方のお力添えの賜物と厚く御礼申し上げます。

本年も左記のように、おあずかりする少年会員が将来立派なようばくに育つよう、總會をつとめさせていただきます。

今回は新しい試みとして、オンラインでの開催いたしますので、各教会、各家庭にてネット環境との接続にご協力をお願いいたします。

記

日時 1月30日(日) 10時

会場 各教会、各家庭

内容 おつとめ、式典

配信方法 ZOOM

※詳細は別紙案内を参照下さい。また、不明な点は、各支部育成委員長へお尋ね下さい。



献血推進委員会

「献血呼びかけひのきしん」報告

年末年始は一年を通じて血液が最も不足する時期である。今年も県赤十字血液センターの恒例行事「クリスマス献血2021」に参加させて頂いた。

12月25日(土)、イオンモール盛岡南を会場に、4つのボランティア団体が参加し、買い物客にプラカードで献血呼びかけを行った。コロナ禍での呼びかけとあって、セレモニーは実施されず、呼びかけ者の人数も午前・午後とも4人までの制限やワクチン接種証明書の提示等が求められる、日程も例年の12月初旬から



キャンペーン終盤へと移動するなど、とまどう点もあった。

「岩手教区献血たすけあいの会」では、盛岡支部から午前と午後、各4人の計8人が、10時から15時30分まで熱心にひのきしんに励ませて頂いた。

当日の献血状況は、15時過ぎの段階で400ml全血献血者47名と上々の結果であった。

2月には「バレンタイン献血」と銘打つて実施される予定ですので、寒い中ですが多数の呼びかけひのきしんのご協力をお願いいたします。



祭事部

「雅楽初心者講習会」実施さる

去る12月12日(日)、教務支庁に於いて「雅楽初心者講習会」を実施した。講師は、筆策・田中範道(五戸分)、笙・権谷正一(南平分)、龍笛・権谷一平(南平分)の3氏につとめて頂き、受講者は5人だった。開講式では、鈴木真理祭事部長より「以

前、本講習会は青年会主催で行われていたが、教区祭事部の発足に伴い、祭事部が引き継いでいる。教会においても月次祭の祭儀式や葬儀など、雅楽の需要は少なからずあるので、少しずつでも雅楽に慣れ親しんでいただく機会になればと思ひます」と挨拶があった。続いて、早速管別による練習となり、昼食をはさんで初歩的な内容から細かな技術的な内容まで、参加者の習得状況に応じて進められた。最後に、それぞれの管を練習するにあたっての注意すべき点や、合奏するときの留意点などが示され、「越天楽」を合奏して終了となった。

参加者は少なかつたが、普段気づかないことも見直すことができ、充実した講習会となった。

